

# ソーシャルボンドファクトシート

ポジティブな社会的成果のためのプロジェクトへの融資

## IFCのソーシャルボンド： 包摂的かつ公平なインパクトの促進

IFCのソーシャルボンドは、新興市場における社会的、経済的、ジェンダー平等を促進するプロジェクトへの投資機会を投資家に提供します。ソーシャルボンドは、私たちの資金調達戦略の不可欠な部分です。IFCのソーシャルボンドは、資金調達プログラム全体と統合的な優先無担保債務として発行されます。

IFCは民間セクターと協力して、医療、教育、手頃な価格の住宅、金融、衛生等の重要な分野に焦点を当てたインパクトのある投資機会を創出しています。IFCのソーシャルボンドは、十分なサービスを受けていない人々に直接利益をもたらすプロジェクトに資金を提供し、国連の持続可能な開発目標の達成に貢献します。

IFCのソーシャルボンド・プログラムは、2017年に初の米ドル建てソーシャルボンド・グローバル・ベンチマーク債の発行により開始されました。これ以来、IFCは、公募債及び私募債市場において、様々な通貨や期間のソーシャルボンドを頻繁に発行しています。このプログラムは、国際資本市場協会(ICMA)が発行するソーシャルボンド原則に沿っています。

2017年度から2024年度にかけて、IFCは84億ドルを調達

97件のソーシャルボンド

14通貨

## ソーシャルボンドの資金使途

ソーシャルボンドによる調達資金は、以下の分野において、ポジティブな社会的成果をもたらすプロジェクトに充てられます。



### インクルーシブ (包摂的な) ビジネス

「経済ピラミッドの底辺」に暮らす人々に対して、生計の機会を提供し、アクセスギャップを埋めるような企業向けに融資をします。これらの企業は、商業的に実行可能な方法を用いてサプライヤー、従業員、流通業者、小売業者、顧客としてバリューチェーンの統合に寄与しています。



### 女性のための銀行融資

女性が経営する企業に資金を貸し出すことを条件として、金融仲介機関向けに融資をします。



### ソーシャルボンド原則 対象事業

ICMAソーシャルボンド原則に定める基準を満たすプロジェクトへ融資をします。

## IFCについて

世界銀行グループの一員であるIFCは、新興市場の民間セクターに特化した世界最大規模の開発機関です。途上国で市場と機会を創出するため、IFCは持てる資金、知見そして影響力を活かし、世界100カ国以上で活動しています。居住可能な地球において貧困のない世界の実現に向け、民間セクターによる解決策の活用や民間資金の動員に取り組み、2024年度、IFCは途上国の民間企業と金融機関に対し過去最高となる560億ドルの投融資を承認しました。

## IFCの2024年度発行実績



## 開示・報告

IFCは、ソーシャルボンドの調達資金の対象となるプロジェクトのリストを、グリーン及びソーシャルボンドのインパクトレポートを通じて毎年公表しています。このリストには、プロジェクトの概要説明、資金提供額、予想される環境への影響、及び関連する公開文書へのリンクが含まれています。

## 私たちの提供する価値

- 世界銀行グループの一員であるIFCの使命は、居住可能な地球上における、①極度の貧困の撲滅及び②繁栄の共有の促進です。
- IFCは、開発途上国の民間セクターへの投資を通じて、持続可能な成長を促します。
- IFCは、60年以上に亘って、新興市場における経済成長と発展を支援するために、資本市場における資金を動員してきました。
- IFCは、経済・金融の不確実性が高まる中、景気循環に対抗する（カウンターシクリカルな）役割も果たしています。
- また、IFCは、再生可能エネルギー、農業、健康、教育、金融市場など、幅広いセクターで発展途上国にアドバイザーサービスを提供しています。



2023年11月、IFCは期間3年・15億ドルのソーシャルボンドを新興国の低所得コミュニティを支援するために発行しました。非常に大きな需要を積み上げた本起債はIFCにとり最大のソーシャルボンドとなり、2023年に国際機関による米ドル建てで最大のソーシャルボンドとなりました。IFCのソーシャルボンドは、必要不可欠なサービスを受用できない人々を対象として、社会的に大きなインパクトをもたらすプロジェクトを活用されます。

IFCは国際機関部門の  
ソーシャルボンド・オブ・ザ・イヤーを受賞  
[Environmental Finance's Bond Awards 2024](#)



## AAA格付を有するIFCの強み

- 株主は186カ国の加盟国政府であり、資本金の50%以上をAAA/AA格の国々が出資
- 設立（1956年）以降の着実な利益の計上による内部留保の蓄積により、強固な資本基盤を確立
- 非常に保守的な流動性カバレッジ比率(LCR)及びレバレッジ比率を備えた実質的な流動性バッファを有する
- グローバルな資本市場において多様な投資家へのアクセスを有する
- 世界118カ国、2,000社以上の企業に投融資を行い、高度に分散されたポートフォリオを有する
- 1989年の最初の格付取得以来、S&P及びムーディーズより一貫してAAA/Aaaの格付評価を維持
- バーゼル規制の下でIFCのリスクウェイトは0%

この文書は、IFCが発行する債券の購入を提案・推奨するものではありません。

Photo credit: IFC

## IFC財務部門の連絡先

### 資金調達グローバルヘッド

Flora Chao | [fchao@ifc.org](mailto:fchao@ifc.org)

#### ワシントンD.C.

Yuri Kuroki  
Head of Funding - Americas  
[ykuroki@ifc.org](mailto:ykuroki@ifc.org)

Zauresh Kezheneva  
Financial Officer  
[zkezheneva@ifc.org](mailto:zkezheneva@ifc.org)

#### ワシントンD.C.

**Investor Relations**  
Ayelet Perlstein  
Head of Investor Relations  
[aperlstein@ifc.org](mailto:aperlstein@ifc.org)

Obert Limbani  
Associate Financial Officer  
[olimbani@ifc.org](mailto:olimbani@ifc.org)

Marsha Monteiro  
Financial Analyst  
[mmonteiro@ifc.org](mailto:mmonteiro@ifc.org)

#### ロンドン

Elena Panomarenko  
Head of Funding - Europe  
[epanomarenko@ifc.org](mailto:epanomarenko@ifc.org)

Roland Maassen  
Associate Financial Officer  
[rmaassen@ifc.org](mailto:rmaassen@ifc.org)

#### Investor Relations

Laura Stirling  
Digital and Communication  
Coordinator  
[lstirling@ifc.org](mailto:lstirling@ifc.org)

#### シンガポール

Marcin Bill  
Head of Funding - Asia  
[mbill@ifc.org](mailto:mbill@ifc.org)

Hiroyasu Hirano  
Financial Officer  
[hhirano@ifc.org](mailto:hhirano@ifc.org)

#### 東京

**Investor Relations**  
安井 豊  
Senior Financial Officer  
[yyasui@ifc.org](mailto:yyasui@ifc.org)

